

議 事 概 要

会議の名称 令和5年度第2回長久手市国民健康保険運営協議会

開催日時 令和5年12月15日(金)午後1時30分から午後2時30分まで

開催場所 西庁舎2階第7・8会議室

出席者氏名

被保険者代表委員	松原 純二
被保険者代表委員	村田 昌克
被保険者代表委員	加藤 恵
国民健康保険医代表委員	水野 智文
国民健康保険歯科医代表委員	今村 綾
国民健康保険薬剤師代表委員	大木 剛
公益代表委員	土方 義信
公益代表委員	山田 豊美
公益代表委員	篠壁 多恵
事務局 福祉部長	川本 満男
保険医療課長	林 元美
同課長補佐	伊藤 弘憲
国保年金係長	浜田 のぞみ
同主任	水口 利佳

傍聴者人数 0名

会議の公開・非公開 公開

議題

- 1 令和6年度国民健康保険事業費納付金仮算定結果及び国民健康保険税について
- 2 国民健康保険保健事業の実施状況について
- 3 その他

問い合わせ先 長久手市福祉部保険医療課国保年金係

電話 0561-56-0618

議 事 録

1 あいさつ 会長 土方 義信

2 議事録署名者の指名

長久手市国民健康保険条例施行規則第6条第2項の規定により、村田昌克委員、今村綾委員を指名。

3 議題

(1) 令和6年度国民健康保険事業費納付金仮算定結果及び国民健康保険税について

事務局説明 資料1により令和6年度国民健康保険事業費納付金仮算定結果について、資料2により国民健康保険税について説明

委員 被保険者数が減っているのはなぜか。人口も減っているのか。

事務局 人口は増加している。被保険者数については、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行していることや社会保険の適用の拡大があり社会保険に入る方が増えていることで減っている。他の市町村も同じような傾向である。

委員 令和6年度に国民健康保険基金残高の3分の1以上使うことになるが今後もこのようなことが続くのか。

事務局 令和6年度は取り崩す予定にしているが、令和7年度以降の保険税率や基金の繰入額は、来年度以降に県から示される納付金の額や標準保険税率を見ながら検討していく。基金は8,000万程は残る予定だが今後このくらいの額は維持していきたいと考えている。

会長 平成30年度から令和5年度まで6年間で標準保険税率に近づけたが令和6年度に保険税率を上げない場合、令和7年度は2年度分、保険税率があがることになるのか。

事務局 令和7年度の保険税率は医療費推計や被保険者数の推移によって県から示される納付金の額や標準保険税率をみて検討するが、倍まで上がるかどうかは現時点では分からない。

会長 その他ご質問がなければ、このことは、報告ということなので、委員の皆様にはご承知おきいただくようお願いする。

(2) 国民健康保険保健事業の実施状況について

事務局説明 資料3により国民健康保険保健事業の実施状況について説明

委員 令和5年度から集団健診の委託業者は変わったと聞いた。評判はどうか。今までより早く終わったように感じた。

事務局 委託業者は変わった。健診の途中で行っていた問診を受付で行うようになったため健診自体の時間は短くなったが、受付までの待ち時間が増えてしまった。来年度は改善していきたい。また、評判は特に変わらない。

会長 特定健診受診率向上事業について、退職前に受診していた人間ドックを引き続き受診している方もいると思うが、その場合も受診率に反映されるのか。

事務局 健診結果を提供してもらうことで、受診率に反映されている。提供してくれた方は謝礼を渡すことも行っている。

委員 謝礼のことを案内しているのか。

事務局 健診案内、ホームページ、個別通知などにより案内している。

会長 健康づくり事業について加入者向け Web サービス (PepUp) は高齢者でもゲーム感覚で楽しみながら健康づくりができてよいと思うが宣伝は行っているのか。

事務局 登録するための ID 番号が必要なので、ID 番号をお知らせする通知を送り登録を促している。また登録会等も行っている。さらに健診会場での周知や特定保健指導の案内等にチラシを同封するなどして登録勧奨を行っている。

委員 重症化予防事業についてエントリー期間が短く、患者の診察のタイミングが合わないと事業への勧奨ができない。対象者の連絡を早くい

ただきエントリー期間を延ばしていただきたい。

事務局 今年度は対象者の抽出が遅くなった。来年度は夏前に抽出するスケジュールを予定しており、エントリー期間を長くするよう改善したいと考えている。

会長 重症化予防事業では参加者の改善がみられているか。

委員 薬が必要なくなるくらいに改善した方もいる。思っていた以上に効果はある。ただ、初年度の参加者がリバウンド傾向にある。再度保健指導を行うといいと思う。

事務局 これまでの参加者に事後フォローとして電話をし始めたところである。必要に応じて再度、保健指導していく。事業参加者以外でも紹介いただければ対応できるので紹介していただきたい。

委員 若年性心筋梗塞予防事業で、「心筋梗塞患者のうち、約24%が60歳以下」とあるがこれは一般的な数値か。

事務局 そのとおり。愛知医科大学循環器内科専門医による数値である。

会長 その他ご質問がなければ、このことは、報告ということなので、委員の皆様にはご承知おきいただくようお願いする。

事務局 今後の開催予定について説明。

会長 以上をもって、令和5年度第2回長久手市国民健康保険運営協議会を終了とする。

午後2時30分終了